

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 persistent inflammation, immunosuppression and catabolism syndrome と関連のある因子についての検討』』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 救命センター 科 職位・氏名 助教・鈴木 銀河

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院救命センターでは、persistent inflammation, immunosuppression and catabolism syndrome (PICS)と関連のある因子を特定することを目的として本研究を計画しました。PICS とは、入院患者さんにおいて炎症、免疫力の低下、筋蛋白質の分解が長引く症候群のことです。PICS の状態になると、病気が治った後も筋力の低下や免疫量の低下、栄養状態の不良が続くため別の病気になったり感染症を起こしたりするリスクが高まります。PICS は主に ICU に入院する患者さんに多いとされており、PICS になる理由がわかれれば対処することができる可能性があります。

よって、この研究で得られる成果は、PICS を予防することにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大森病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2019年1月～2021年3月までに東邦大学医療センター大森病院

救命センターにおいて、ICUに入院された方を対象にカルテから抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料: 血液、手術で摘出した組織 等

情報: 病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 等

【外部への試料・情報の提供】

本研究には該当しません。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大森 研究代表医師: 鈴木 銀河 役職: 助教

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 救命センター

職位・氏名 助教・鈴木 銀河

電話 03-3762-4151 内線 77366